

## 豊島区外傷サーベイランス委員会会議録

会議体の名称	第23回（令和3年度第1回）外傷サーベイランス委員会
事務局（担当課）	セーフコミュニティ推進室
開催日時	2021年11月11日（木）16時00分～17時00分
開催場所	本庁舎5階 庁議室
議事	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 不慮の事故等による死亡・けがの状況について</li> <li>2 セーフコミュニティ国際認証について             <ol style="list-style-type: none"> <li>（1）事前指導の実施について</li> <li>（2）発表パワーポイント（案）について</li> </ol> </li> </ol>
出席者	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 豊島区セーフコミュニティ推進協議会専門委員 市川 政雄</li> <li>2 豊島区セーフコミュニティ推進協議会専門委員 富尾 淳</li> <li>3 豊島区セーフコミュニティ推進協議会専門委員 水村 容子</li> <li>4 池袋警察署 生活安全課長代理：             <ul style="list-style-type: none"> <li>生活安全課 課長代理 高橋 厚志</li> <li>交通課 課長代理 鈴木 俊文</li> </ul> </li> <li>5 豊島消防署 警防課長代理：             <ul style="list-style-type: none"> <li>警防課課長補佐兼救急技術担当係長 小室 俊基</li> </ul> </li> <li>6 池袋保健所長 植原 昭治</li> <li>7 セーフコミュニティ推進室長 櫛島 匠 【事務局】</li> </ol>
配布資料	資料1 不慮の事故等による死亡・けがの状況 資料2 令和3年度事前指導の実施について 資料3 外傷サーベイランス委員会発表パワーポイント（案） 参考資料1 令和3年度豊島区外傷サーベイランス委員会委員名簿
議事要旨	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 不慮の事故等による死亡・けがの状況</li> <li>2. セーフコミュニティ国際認証について             <ol style="list-style-type: none"> <li>（1）令和3年度事前指導の実施について</li> <li>（2）発表パワーポイント（案）について</li> </ol> </li> <li>3. その他</li> </ol>

セーフコミュニティ 推進室長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委員紹介（出席者、欠席者）</li> <li>・ 配布資料の確認</li> </ul>
市川委員長	<p>第1回豊島区外傷サーベイランス委員会を開会する。</p> <p>「議事1. 不慮の事故等による死亡・けがの状況」について、事務局から説明いただきたい。</p>
	(資料1を基に説明)
富尾委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ P2 救急搬送件数の推移</li> </ul> <p>2020年は前年比で15%ぐらい減少していることが確認できる。下記URL 東京消防庁の救急件数(※)も前年比で10%以上減少しているので(下の方の表の一番下の数字)、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う移動の制限、活動機会の減少等が影響しているのだろうと思われる。15-64歳の減少が顕著だと思われるが、年齢層による違いのほかにも、発生件数が横ばいあるいは顕著に増減している外傷(重傷度や原因、場所などでの傾向の違い)を調べてみると、今後の参考になるのではないか。</p> <p>(※)</p> <p><a href="https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/saigai/nikkan.htm">https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/saigai/nikkan.htm</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ P5 ⑤交通事故によるけがの状況</li> </ul> <p>100%に揃えたグラフで、年齢による違いがよくわかるものになっているが、P.3③の表によると、交通事故の救急搬送件数自体は高齢者の方が子供より3倍程度多いため、自転車事故の救急搬送件数も高齢者の方が多いのではないかとと思われる。</p> <p>「自転車事故」の減少にフォーカスする場合は、このグラフに加えて、自転車事故を分母にしてうえで年齢や場所の特徴(あとできればヘルメットの着用有無)を確認してみるのも効果的だと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ P5 ⑥自殺未遂の状況</li> </ul> <p>「未遂」で済んだ方だけでなく、「完遂」して亡くなってしまった方も含まれているということを明記したほうが良いと思う。</p> <p>また、P.2(1)③グラフ(自殺完遂者のみのもの)と、この自殺未遂者も含まれているグラフとでは、形が若干異なっている。特に、中年層の山が、両グラフによって異なっており、これは2020年に特化したものなのだろうか。そのほか、これまでの年と比べて、2020年の自殺未遂者・完遂者における年齢や性別の傾向はどうか、一般に言われるように、女性での増加が顕著なのか、数年遡って確認してみても良いと思う。</p> <p>また、P.2(1)③グラフ(自殺完遂者のみのもの)と男女の上下が逆に</p>

	<p>なっている。より多い方を下に持ってきているのかと思うが、見比べられるように上下を揃えるとわかりやすくなると思う。</p>
市川委員長	<p>交通事故グラフ等、示し方によってはミスリードを招いてしまう。各年齢層における実数を示しつつ、その中での割合を示すと、誤解ないと思う。件数が多すぎたりすると、グラフとして見づらくなってしまいう可能性もあるため、そのあたりの塩梅は工夫する必要あると思う。</p>
水村委員	<p>福祉住環境コーディネーター論授業で確認した住宅内事故の結果と同じような数字になっている。屋外よりも屋内の事故が増えており、屋内の事故が乳幼児と高齢者に偏っている。</p> <p>データ収集の主旨として、事故を防ぐことを目的としているとのことだったが、事故を防ぐために必要な情報がなかなか見えてこないのが課題と思う。特に75歳以上の高齢者は転倒・転落が多く、転倒は家庭内の構造が原因であることも多いと思うので、築何年なのか、住宅内のどこで転倒したのか、が予防していくうえでは重要な情報と思う。そこまでどう踏み込んでいくかが、今後の課題と思う。救急搬送データ以外にも別途アンケート調査等していると思うので、予防していくための視点としてデータを整理していくのも良いかと思う。</p>
市川委員長	<p>p1(1)②グラフ見ると、高齢者の死因として、転倒・転落のほか、溺死・窒息も上位になっている。75歳以上は特に割合として大きい。死因割合としてトップである転倒・転落の予防活動を継続していきつつも、致死率の高い溺死については、ほぼお風呂場で起こっていると思われ、調査すれば予防できるケースも多いのではないかと思う。救急搬送数は少なくとも、致死率の高い事故を減らしていくことに意義があると思う。</p>
市川委員長	<p>では、議事2(1)「令和3年度事前指導の実施について」事務局から説明いただきたい。</p>
	<p>(資料2を基に説明)</p>
市川委員長	<p>ZOOM ウェビナー開催は確定事項か？</p>
セーフコミュニティ推進室長	<p>通常であれば、海外審査員が渡航・来庁のうえ対面での開催だが、今回は渡航もできないため、ZOOM ウェビナーでの開催が確定している。510会議室に集まっていたいて、海外審査員と区役所をつなぐ形を想定している。</p>
市川委員長	<p>議事2(2)「発表パワーポイントについて」事務局から説明いただきたい。</p>
	<p>(資料3を基に説明)</p>
市川委員長	<p>審査の際に必ずサーベイランス委員会を役割とともに、何をやったかを問われることが多いが、今回スライドに含まれていたため、その点</p>

	は問題ないと思った。
水村委員	サーベイランス委員会の役割として、入浴事故の予防・転倒予防について他の区の施策でも対応が可能な部分あると思う。例えば、バリアフリー改修・断熱改修をすることによって、事故予防に貢献できる。それらの改修、住環境整備に関する助成制度を区として実施しているのであれば、助成制度を促進していることが予防に繋がると思う。事故予防のために、セーフコミュニティ関係の委員会以外で区が展開している事業を提示すれば、審査の際にアピールポイントになるのではと感じた。
市川委員長	本日の意見を受けて、修正や追加が必要であれば、適宜加えていただければと思う。 本番当日は、事前録画を視聴したうえで、25分間質疑応答をするという理解で良いか。スライドの英訳や、通訳はどうするのか。
セーフコミュニティ推進室長	英訳や通訳の詳細に関しては、別途個別に事務局と委員長とで相談させていただきたい。 パワーポイント自体は英訳を実施する予定である。
市川委員長	では、パワーポイント案について、これ以上の意見はないようなので、その他、事務局より連絡事項あればお伝えいただきたい。
セーフコミュニティ推進室長	次回、第2回外傷サーベイランス委員会は、先ほどご説明したとおり、12月13日の10:30～オンライン事前指導の質疑応答を予定しております。委員長をはじめ、委員の皆様には可能な限りご来庁のうえご参加いただきたいと存じます。詳細については、後日メールあるいは通知を送付いたします。
市川委員長	以上で、第1回豊島区外傷サーベイランス委員会を終了する。 (閉会)